

災害に強い道路ネットワークの構築に向けた土砂災害防止対策の加速化

- ・令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、石川県において最大33地区、3,345人が孤立。
- ・南海トラフ地震の発生が逼迫している高知県においても、多くの集落が孤立する可能性がある。
- ・市町村を連結する緊急輸送道路等が被災することにより、集落が孤立するだけでなく、被災地域全体の早期復旧・復興を妨げる要因となっている。

- ・主要道路の被災により、集落が孤立
- ・被災地域への物資輸送に支障
- ・早期復旧・復興への妨げ

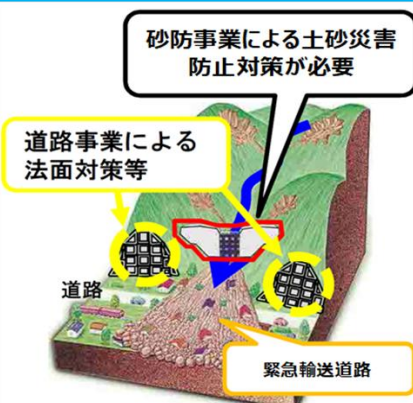
緊急輸送道路等の主要道路の寸断を防ぐためには、道路事業による法面对策等に加え、砂防事業による土砂災害防止対策も必要

土砂災害防止対策の加速化により、緊急輸送道路等の保全を促進し、中山間地域における孤立集落軽減、早期復旧・復興に寄与

緊急輸送道路を含む重点整備箇所のうち、防災拠点（市町村役場等）または要配慮者利用施設を保全する砂防施設を最重点整備箇所と位置付け整備を推進

令和6年能登半島地震（最大震度7）による土砂災害発生状況

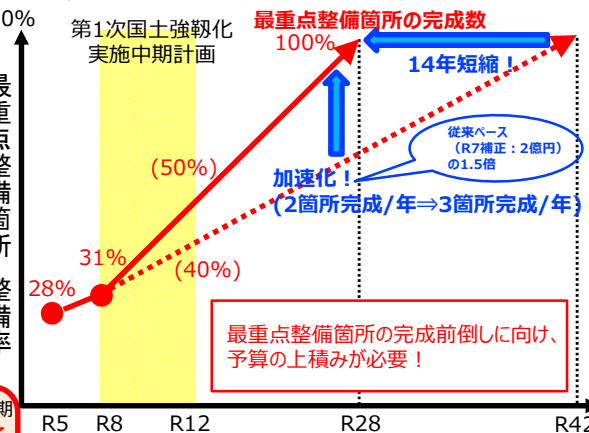
土砂災害警戒区域
石川県：4,687箇所
高知県：20,014箇所



県全体	（令和5年度末時点）
重点整備箇所（緊急輸送道路含む）	箇所数
	2,908 箇所



県全体	（令和7年度末時点）
重点整備箇所（緊急輸送道路含む）	箇所数
	90 箇所



国土強靱化関係予算（5か年加速化対策、実施中期計画）について、本県に物価高騰等を上回る予算配分をしていただき大変感謝！

（政策提言開始以降の本県への配分国費）		
R5補正内示（5か年4年目）	R6補正内示（5か年5年目）	R7補正内示（中期計画1年目）
9.2億円 +14.7%	10.6億円 +8.4%	11.5億円
砂防工事費の上昇率	+6.2%（R6.12/R5.12）	+3.2%（R7.12/R6.12）

南海トラフ地震は約100～150年周期で発生

昭和南海地震から100年を迎えるまでに完成！

最重点整備箇所の早期完成に向け、整備を加速化できる規模（従来ペースの1.5倍）の予算の確保をお願いします！

政策提言

- ・能登半島地震の教訓を生かし、中山間地域の孤立集落軽減のためには、緊急輸送道路等を保全する土砂災害防止対策の着実な推進が必要。
- ・第1次国土強靱化実施中期計画に基づき、今後高い確率で発生が予想される南海トラフ地震に備えるために、中長期的かつ明確な見通しの下、切れ目なく土砂災害防止対策を推進できるよう、整備を加速化できる規模の予算の確保をお願いします。